

# ピアノ演奏家コース

- 作曲コース
- デジタルミュージックコース
- 指揮コース
- サウンドテクノロジーコース
- ピアノ演奏家コース**
- ピアノ指導者コース
- ピアノ音楽コース
- オルガンコース
- 電子オルガンコース
- 弦管打楽器コース
- ジャズコース
- ポピュラー音楽コース
- 声楽コース
- アートマネジメントコース
- 舞台スタッフコース
- 音楽療法コース
- ミュージカルコース
- バレエコース

試験科目	内容	注記	A O	給 費 生	公 募 推 薦	一 般 前 期	一 般 後 期
1	<b>主科実技課題</b> 以下の(1)~(4)のすべてを演奏する (1) バッハ J.S.Bach : Das wohltemperierte Klavier (平均律クラヴィーア曲集) 第1巻および第2巻の中から任意の1曲。プレリュードとフーガの両方。 (2) エチュード 以下の(a)または(b)の曲集のいずれかから任意の1曲。 (a) F.Chopin : 12 Etudes (12の練習曲集), Op.10 (b) F.Chopin : 12 Etudes (12の練習曲集), Op.25 (3) ソナタ J.Haydn, W.A.Mozart, L.v.Beethovenのソナタから、任意の作品の緩徐楽章(ゆっくりした楽章) (4) 自由曲(複数の作品も可)	※(1)は繰り返しなしで暗譜とする。 ※(2)は暗譜とする。 ※(3)(4)は繰り返しなしで暗譜とする。 ※(1)(2)(3)(4)の順で演奏し、20分程度にまとめること。(3)で選択したソナタの他の楽章を(4)で選択してもよい。ただしその場合、楽章順に演奏すること。演奏の途中でカットする場合がある。	○	○	○	○	○
2	<b>楽典</b> 筆記試験(60分)		○	○	○	○	○
3	<b>ソルフェージュ課題</b> A. 以下の(1)および(2)の両方を受験する (1) 聴音 旋律聴音2題、および和声聴音1題(上三声密集四声体) (2) 以下の(a)または(b)のいずれかを選択 (a) F.Wüllner : Chorübungen der Münchener Musikschule (コールユーブンゲン第1巻) No.33~59(原書番号)の中から1曲を当日指定 (b) 新曲視唱	※聴音および新曲視唱の実施方法と例題は●ページを参照。唱法は固定ド、移動ドいずれでもよい。	○	○	○	○	
	B. 以下の(a)~(c)のいずれか1つを選択する (a) 旋律聴音2題、および和声聴音1題(上三声密集四声体) (b) F.Wüllner : Chorübungen der Münchener Musikschule (コールユーブンゲン第1巻) No.33~59(原書番号)の中から1曲を当日指定 (c) 新曲視唱						○
4	<b>AO面接</b>		○				
5	<b>給費生作文</b> 指定する作曲家のうち一人を選んでその伝記を読み、試験当日に課題作文を書く。(60分) 詳細は●ページに記載。	※伝記は単行本に限り、辞書・辞典類の項目は認めない。当日参照不可。		○			
6	<b>給費生面接</b>			○			
7	<b>一般科目</b> A. 本学で行う以下の一般科目(a)~(c)の中から1科目を選択して受験(45分) (a) 英語(I・II) (b) 国語(国語総合、国語表現I、ただし古文・漢文を除く) (c) 数学I					○	
	B. 大学入試センター試験の成績を利用する以下の(a)~(f)の中から2教科2科目を選択 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語	※「国語」「地歴」「公民」「数学」「理科」「外国語」について3教科・3科目以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目毎100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細については38ページを参照。					○